

J-POWERグループは、2015年3月に実施した増資を梃子とする今後10年間のさらなる成長に向けた挑戦を、中期経営計画として2015年7月に策定し、2018年4月にこれまでの取り組み状況についてレビューを実施しました。

当社を取り巻く事業環境は大きく変化しており、この変化に伴うさまざまなリスクや事業機会に対する今後の取り組みと2020年度の新たな目標を示しております。



## キーコンセプト

- 国内での成長は、「自由化された市場で競争に勝ち抜く」ことにより実現
- 企業成長の舞台を国内外に広く求める「グローバル展開」
- 国内外での成長を、一層の「低炭素化技術」で支える

## 今後の取り組み

- 再生可能エネルギーのさらなる拡大(→詳細p.18～19)
- 石炭利用のゼロエミッション化への挑戦(→詳細p. 20～22)
- 安全を大前提とした大間原子力計画の推進(→詳細p. 26～27)
- 海外事業の拡大(→詳細p. 28～29)
- 既設事業の価値最大化(→詳細p. 30～34)

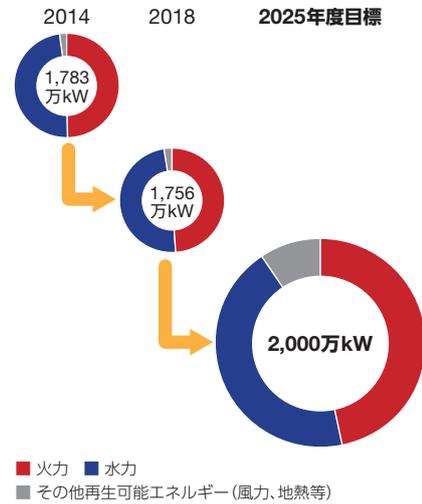
# 1. 発電資産の成長目標

国内発電出力：  
2025年度目標 **2,000万kW**

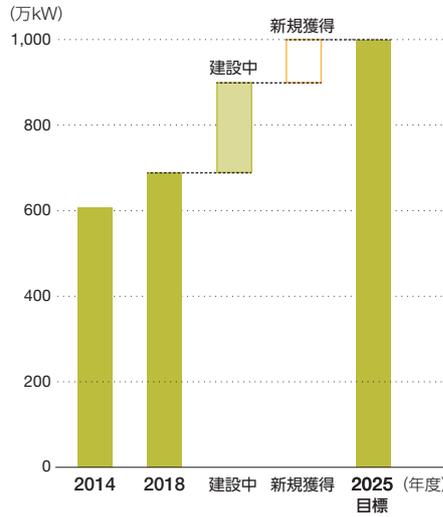
海外持分出力：  
2025年度目標 **1,000万kW**

国内・海外発電出力：  
2025年度目標 **3,000万kW**

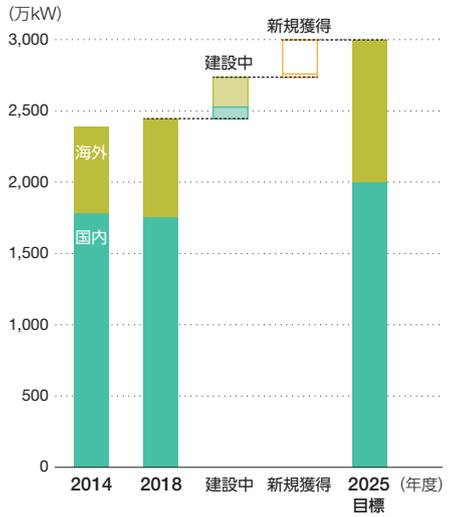
国内発電資産の構成



発電能力(海外)

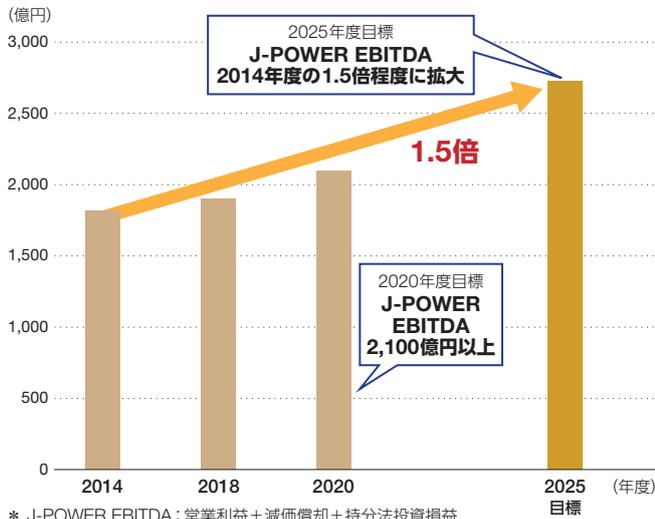


発電能力(全体)

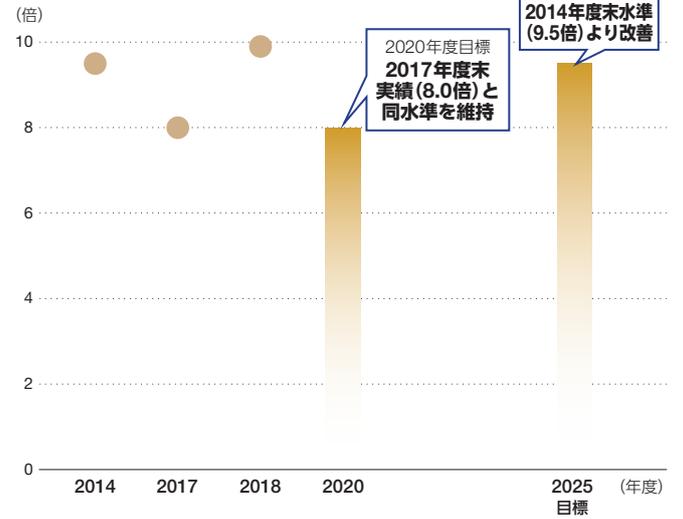


# 2. 成長性・健全性指標の目標

成長性指標：J-POWER EBITDA\*



健全性指標：有利子負債/J-POWER EBITDA



# 3. 株主還元

## 株主還元について

これまで、J-POWERグループの事業環境が大きく変化する期間である2020年度までは、従前同様安定的な配当を継続し、競争力のある資産形成と財務健全性の維持・向上に努めるとしてきましたが、2017年度に国内における自由化の進展など事業環境の変化を先取りし、新たな還元方針を定めました。本方針の下、2017年度に増配(70円→75円)を実施しています。

## 株主還元の考え方

短期的な利益変動要因を除いて連結配当性向30%程度を目安に、利益水準、業績見通し、財務状況等を踏まえたうえで、安定的かつ継続的な還元充実に努めます。